

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2026年3月26日時点)

露軍は、**ウクライナ東部・南部地域**での攻勢やウクライナ全土に対する**ミサイル・無人機攻撃**を継続。また、ウクライナ軍も無人機等による露領内への攻撃等を継続している模様。

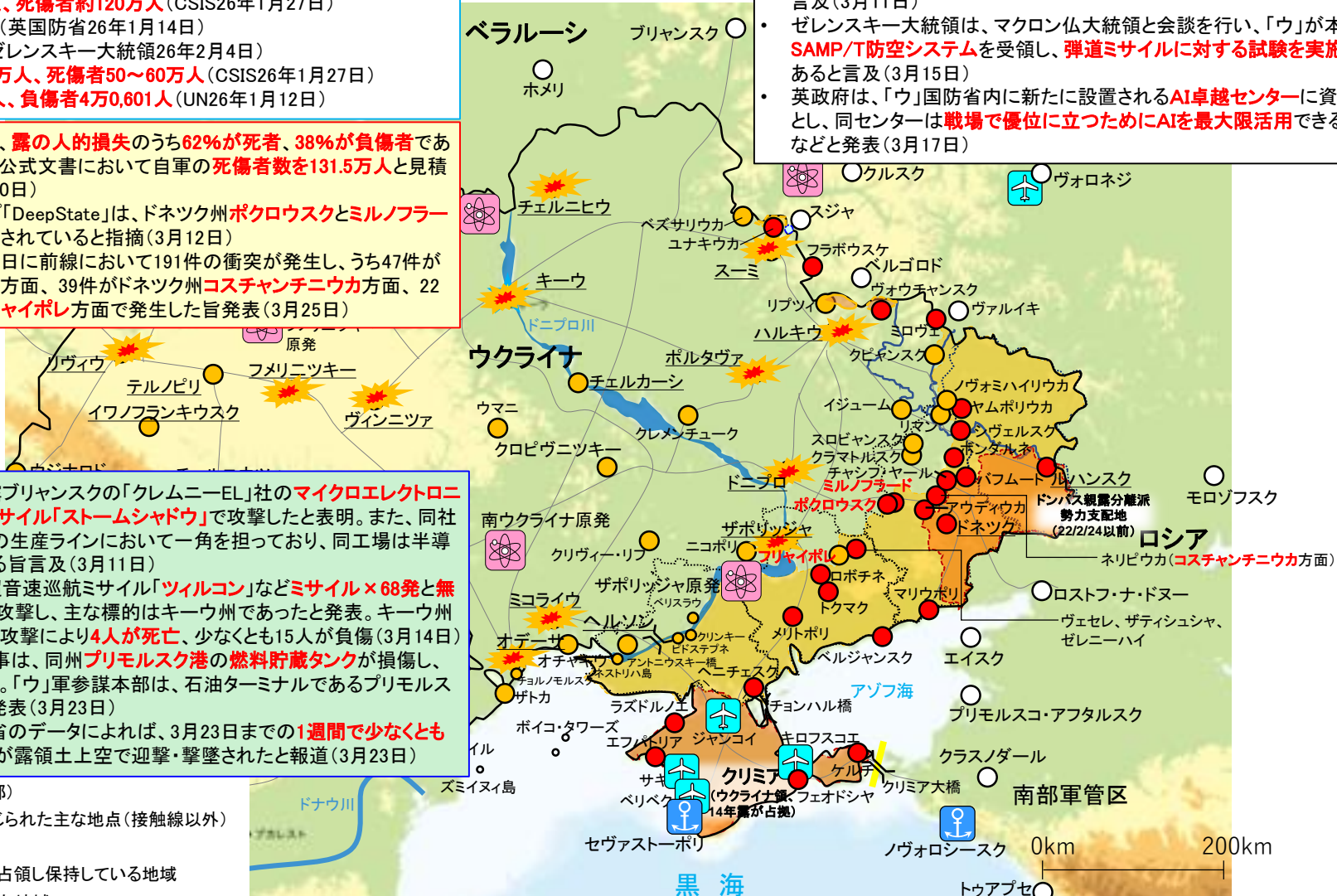
## 戦闘による人的被害・物的損耗の状況

- 露軍: **死者約19.8万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
  - : **死者27.5~32.5万人、死傷者約120万人**(CSIS26年1月27日)
  - : **死傷者約121.3万人**(英国防省26年1月14日)
- 「ウ」軍: **死者約5.5万人**(ゼレンスキー大統領26年2月4日)
  - : **死者最大10~14万人、死傷者50~60万人**(CSIS26年1月27日)
- 「ウ」市民: **死者1万4,999人、負傷者4万0,601人**(UN26年1月12日)

- ゼレンスキー大統領は、露の**人的損失のうち62%が死者、38%が負傷者**であるほか、露が非公開の公式文書において自軍の**死傷者数を131.5万人**と見積もっていると主張(3月10日)
- 「ウ」戦況分析グループ「DeepState」は、ドネツク州**ポクロウスク**と**ミルノフラー**ドが事実上露軍に占領されていると指摘(3月12日)
- 「ウ」軍参謀本部は、24日に前線において191件の衝突が発生し、うち47件がドネツク州**ポクロウスク**方面、39件がドネツク州**コスチャンチヌカ**方面、22件がザポリヅジャ州**フリャイボレ**方面で発生した旨発表(3月25日)

- 「ウ」軍参謀本部は、露ブリヤンスクの「クレムニー-EL」社の**マイクロエレクトロニクス工場を英製巡航ミサイル「ストームシャドウ」**で攻撃したと表明。また、同社は露の精密誘導兵器の生産ラインにおいて一角を担っており、同工場は半導体などを専門としている旨言及(3月11日)
- 「ウ」空軍は、露が極超音速巡航ミサイル**「ツィルコン」**など**ミサイル×68発と無人機×430機**で「ウ」を攻撃し、主な標的はキーウ州であったと発表。キーウ州軍政長官によれば、同攻撃により**4人が死亡、少なくとも15人が負傷**(3月14日)
- 露レニングラード州知事は、同州**プリモルスク港の燃料貯蔵タンク**が損傷し、火災が発生したと表明。「ウ」軍参謀本部は、石油ターミナルであるプリモルスク港などを攻撃したと発表(3月23日)
- 露メディアは、露国防省のデータによれば、3月23日までの**1週間で少なくとも2,637機の「ウ」無人機**が露領土上空で迎撃・撃墜されたと報道(3月23日)

- ゼレンスキー大統領は、10日に**独からPAC-3ミサイルを受領**したとし、これは直近の「ウ」防衛コンタクトグループ(UDCG)会合で合意したうちの一部である旨言及(3月11日)
- ゼレンスキー大統領は、マクロン仏大統領と会談を行い、「ウ」が本年**新型のSAMP/T防空システム**を受領し、**弾道ミサイルに対する試験を実施**する予定であると言及(3月15日)
- 英政府は、「ウ」国防省内に新たに設置される**AI卓越センター**に資金提供を行うとし、同センターは**戦場で優位に立つためにAIを最大限活用**できるよう取り組むなどと発表(3月17日)



- 主要都市(下線は州都)
- ★ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ウクライナ軍が占領した地域

国土地理院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等